

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 矢崎総業北海道販売株式会社新社屋

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	重み係数	住居・宿泊部分	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質					評価点		評価点		
Q1 室内環境					2.9	3.0	-	-	2.9
1 音環境					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能					3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能					3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境					2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御					2.6	0.50	-	-	
1 室温					3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能	A				3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性					2.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 屋光利用					4.2	0.30	-	-	
1 屋光率					5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口					-	-	-	-	
3 屋光利用設備	A				3.0	0.40	3.0	-	
2.85%としている					3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-	
1 屋光制御	A				3.0	1.00	-	-	
2 映り込み対策					-	-	-	-	
3.3 照度					4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
全館照明方式600lx(事務室)					4.0	0.15	-	-	
4 空気質環境					4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策					5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質					5.0	1.00	-	-	
2 浮遊粒子状物質					-	-	-	-	
F☆☆☆☆ほぼ全面的に採用。VOC対応も同様。					3.0	0.30	-	-	
4.2 換気					3.0	0.33	-	-	
1 換気量					3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能					3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9
1 機能性					2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ					2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性					3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画					1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					3.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース					5.0	0.33	-	-	
3 内装計画					1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
積雪量計測棒を設置。必要最低限の除雪対応で済むように配慮。					3.0	0.30	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	
空調機熱源に電気とLPGを採用					3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					2.7	0.30	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり					2.2	0.30	-	-	
1 階高のゆとり					1.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	-	-	
0.212%としている。					3.0	0.30	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.40	-	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.20	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2 矢崎総業北海道販売株式会社新社屋		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				重点評価項目				
		A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目						建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)										
1 生物環境の保全と創出			C		2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			C		4.0	0.40	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮										
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	2.0	0.30	-	-	2.0	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C		2.0	0.50	-	-	2.0	
LR 建築物の環境負荷低減性										
LR1 エネルギー										
BPI=0.64(PAL値=276、基準値=430)										
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				5.0	0.05	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用	A				3.0	0.12	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化										
BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -					4.1	0.60	-	-	4.1	
BEI=0.88					4.1	1.00	-	-	4.1	
4 効率的運用										
2.5 効率的運用					2.5	0.24	-	-	2.5	
2.5 効率的運用					2.5	1.00	-	-	2.5	
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	3.0	
4.2 運用管理体制					2.0	0.50	-	-	2.0	
4.1 モニタリング					5.0	-	-	-	5.0	
4.2 運用管理体制					5.0	-	-	-	5.0	
LR2 資源・マテリアル										
1 水資源保護										
3.4 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4	
4.0 水資源保護					4.0	0.40	-	-	4.0	
3.0 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	3.0	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	3.0	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	3.0	
2 非再生性資源の使用量削減										
3.8 非再生性資源の使用量削減					3.8	0.60	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	2.0	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	3.0	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	5.0	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					4.0	0.20	-	-	4.0	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	2.0	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	5.0	
3 汚染物質含有材料の使用回避										
2.3 汚染物質含有材料の使用回避					2.3	0.20	-	-	2.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	3.0	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.0	0.70	-	-	2.0	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					2.0	0.50	-	-	2.0	
3 冷媒					2.0	0.50	-	-	2.0	
LR3 敷地外環境										
1 地球温暖化への配慮										
3.3 地球温暖化への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3	
LCCO2排出率が参照値の92%					3.3	0.33	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮										
2.6 地域環境への配慮					2.6	0.33	-	-	2.6	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	3.0	
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	2.0	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.5	0.25	-	-	3.5	
1 雨水排水負荷低減					4.0	0.25	-	-	4.0	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	3.0	
3 交通負荷抑制					5.0	0.25	-	-	5.0	
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	2.0	
3 周辺環境への配慮										
2.7 周辺環境への配慮					2.7	0.33	-	-	2.7	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	3.0	
1 騒音					3.0	0.33	-	-	3.0	
2 振動					3.0	0.33	-	-	3.0	
3 悪臭					3.0	0.33	-	-	3.0	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					1.6	0.40	-	-	1.6	
1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	1.0	
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	-	3.0	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	3.0	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	4.4	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					5.0	0.70	-	-	5.0	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	3.0	